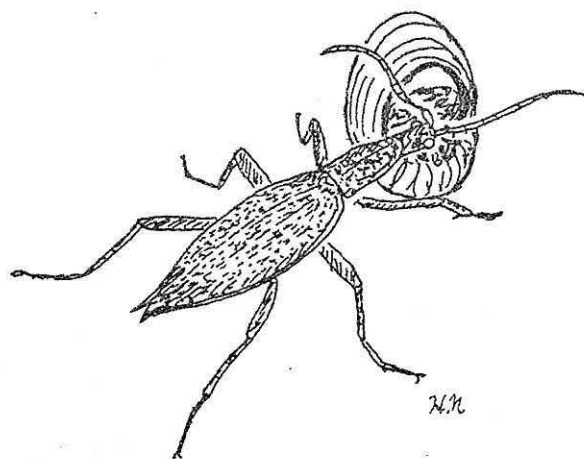


マイマイカブリ

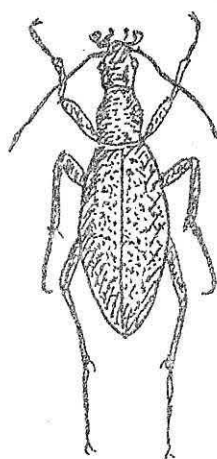
“オサホリ”ということばを御存じですか。冬、山道の切り通しになっている所などのちょっとしたガケの土を掘りかえすと、土の中で冬越しをしている昆虫を見つけることができます。このときオサムシの仲間がよく出てきます。オサムシの仲間を見つけるためにガケなどを掘ることを称して“オサ掘り”と言います。

掘っていると出てくるもののの中にマイマイカブリがいます。マイマイカブリは体長40mmくらい、体は黒色で紡錘形をしたスマートなオサムシの仲間、ヒゲや足が長く、アゴが大きく、そして前ばねは左右がくっついてしまっていて、後ばねは無くなってしまっています。それでマイマイカブリは飛ぶことができません、地上を走りまわってエサをさがします。マイマイカブリは他の昆虫やミミズ、カタツムリなどを大きなアゴでつかまえて食べてしまいます。

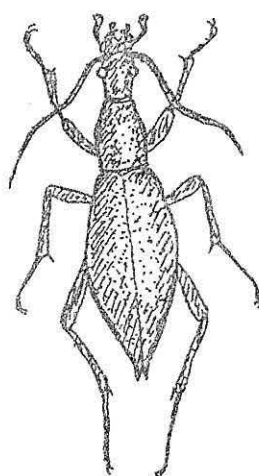
カタツムリを食べる時には、細長い首をカタツムリのカラの中へっこんで中の柔らかい体を食べています。この様子がマイマイ(カタツムリのこと)を頭にかぶっている様なので、マイマイカブリ



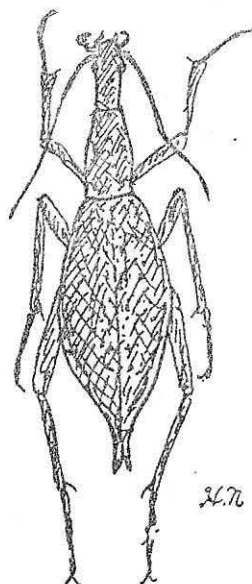
マイマイカブリ、マイマイを食べる図



エゾマイマイカブリ
(北海道)



ヒメマイマイカブリ
(中部地方)



マイマイカブリ
(近畿以西)

と名がついたと言われている。

マイマイカブリは日本じゅう(沖縄ほのぞく)に分布していますが、地方によって体の大きさや、形、色がたいへんちがひ、体の大きさは30mmから60mm

くらいまで、前むねの色は赤銅色や青色の光沢を持つものから黒色で光沢の無いものまで、また前ばねの後ばねの突起も無いものから長くつき出ているものまであります。一般に北の方へ行くほど体は小さく、前むねの光沢は強く、はねのばねの突起は小さくなります。マイマイカブリは上の図に示した他にも各地方によって多くのグループに分けられています。富山県のものについては、現在、富山県昆虫研究会の方々によって研究されている最中です。

☆ プラネタリウム投映のおしらせ ☆

タイトル「アルゴ」船の大冒険」

期間 12月9日から2月下旬まで

富山市科学文化センター

〒930-11 富山市西中野町3丁目1番19号

TEL 富山 (0764) 91-2123

○開館 午前9:00～午後4:30

最終プラネタリウム3:40より投映

○入館料 大人200円 小人100円

○付属天文台 富山市五福8番地 ○休館日 月曜日・祝日

☎ (0764) 32-3334 (ただし5月5日と11月3日は開館)

昭和55年12月1日発行